PRESS RELEASE 2026/11/16 北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY imec embracing a better life

imec が北海道大学内に日本初の研究開発拠点を設置

～大学、研究機関、産業界を結集し、フォトニクス及び先端半導体技術に関する研究開発を支援～

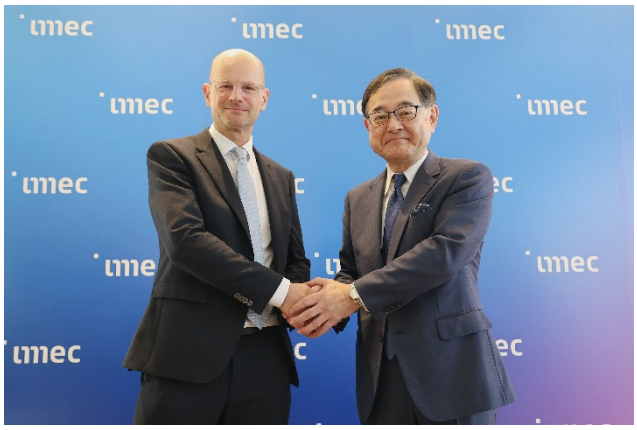
【概要】

先端半導体技術分野における世界有数の研究開発機関である imec は、経済産業省の支援を受け、技術研究組合最先端半導体技術センター（LSTC）との連携のもと、日本における活動を拡大し、北海道大学札幌キャンパスに研究開発拠点を設置します。本拠点は、次世代半導体及びフォトニクス技術の研究開発を推進するとともに、日本とベルギーの研究者による知識共有や共同研究を促進することを目的としています。

将来の AI や高性能コンピューティングを支えるシステムに省電力化･高効率化への要求が高まる中、光技術（フォトニクス）や光電融合（例、CPO：コパッケージド・オプティクス）の重要性が一層増しています。imec と北海道大学は、これらの潮流を見据えた研究開発を推進し、国内の大学、研究機関、及び企業との産学官連携を強化していきます。

研究開発拠点に配置される研究開発チームは、北海道大学、東北大学、横浜国立大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所及び公立千歳科学技術大学等と連携し、将来の半導体システムの実現に重要な役割を果たすとともに、日本の先端半導体メーカーである Rapidus 株式会社をはじめとする産業界が期待する、最先端の光集積回路（PIC）及び電子・光集積回路（EIC）技術の研究開発を進めます。当該事業の体制や研究開発内容は、下記「関連プレスリリース／ポスト 5 G 情報通信システム基盤強化研究開発事業」よりご確認いただけます。

研究開発チームは今後 5 年間で約 15 名規模の研究者・技術者を配置し、ベルギー・ルーヴェンの研究チームとの連携を強化しながら、将来の半導体システムを支える技術の創出と産業応用を目指します。



ITF Japan 2026 にて
ヴァンデナメーレ CEO と寶金総長



北海道大学内
imec 拠点入口

パトリック・ヴァンデナメーレ imec CEO コメント：

日本は、材料、装置、製造、研究において世界トップクラスの専門性を有し、世界の半導体エコシステムにおいて極めて重要な役割を果たしています。北海道での研究開発活動を通じて、次世代半導体及びフォトニクス技術に関する日本の目標達成に貢献するとともに、日本のイノベーションと当社のグローバル研究開発エコシステムとの結び付きをさらに強化したいと考えています。主要大学、研究機関、産業パートナーを結集することで、共通の基盤の上でイノベーションを加速し、将来の AI とデジタルインフラを支える技術の創出に貢献できると確信しています。

寳金清博 北海道大学総長 コメント：

2024 年 11 月に LOI を締結して以来、北海道大学と imec は、半導体先端実装におけるコパッケージド･オプティクスの研究開発及び医療 AI のユースケース拡大に関する共同プロジェクトを提案し、いずれも 2026 年に始動しました。また、本学大学院生のベルギーimec での研修も始まっています。北海道大学が創基 150 周年を迎えるこの年に、本学キャンパスが imec にとって日本初の研究開発拠点となったことを大変誇りに思います。今後、この機会が人材の交流を加速し、日本と欧州の半導体分野における連携を強化することを期待しています。

【関連プレスリリース等】

・「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業/先端半導体製造技術の開発（委託）/光電融合を加速する半導体パッケージング技術開発と先端後工程拠点形成」 の採択について
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/post5g/20260411.html （日本語）
https://www.lstc.jp/assets/pdf/LSTC_d6_press_20260409（セット版）.pdf （日本語）

・imec and Hokkaido University endeavor to advance semiconductor innovation together
https://www.imec-int.com/en/press/imec-and-hokkaido-university-endeavor-advance-semiconductor-innovation-together（英語）

・imec と北海道大学、半導体分野における合意書を締結～両機関の連携による日本の半導体エコシステムの発展への貢献に期待～（2024 年 11 月）
https://www.hokudai.ac.jp/news/2024/11/imec.html （日本語）

【imec について】

ナノエレクトロニクスとデジタル技術における世界有数の研究開発機関。最先端の研究開発インフラと 6,500 人を超える従業員、トップレベルの研究者を擁し、半導体及びシステムの微細化、人工知能、シリコンフォトニクス、コネクティビティ、センシング分野におけるイノベーションを推進している。また、コンピューティング、ヘルスケア、自動車、産業機器、コンシューマーエレクトロニクス、航空宇宙、防衛・安全保障など幅広い産業分野におけるブレークスルーを支えている。IC-Link を通じて、コンセプト設計から量産まで、最先端の設計・製造ニーズに対応するカスタマイズされたソリューションを提供している。また、imec.ventures を通じて新たな事業の創出・共同創出を行うほか、既存の半導体ディープテック企業のスケールアップを支援。半導体バリューチェーン全体の世界

的リーダー企業に加え、フランダース地域及び世界各地のテクノロジー企業、スタートアップ、大学、研究機関と連携している。imec はルーヴェン（ベルギー）に本社を置き、ベルギー全土、欧州各地、米国及び GCC 地域に研究施設を有し、3 大陸に拠点を展開している。2025 年の売上高（損益）は 12 億ユーロ。

（参考）imec ウェブサイト　https://www.imec-int.com/en

imec は、imec International 及びその関連企業の活動に関する登録商標

【北海道大学について】

1876 年に設置された札幌農学校を起源とする日本を代表する国立大学の一つ。日本の国立大学最多の 12 学部・21 大学院を有し、人文・社会・自然科学のほぼすべての領域を網羅し国立大学の中で最大級の教育研究体制を有している。教員数は約 2,000 人、ノーベル賞受賞者を輩出するなど先進的な研究分野に強みを持ち、多様な分野で高度な専門知識を有する研究者から学ぶ機会を提供している。学生数は 18,000 人を超え、うち約 2,000 人は 96 カ国・地域からの留学生である。SDGs への貢献度を示す「THE サステイナビリティインパクトレーティング 2026」の総合ランキングでは世界で第 7 位となった実績を持つ。

（参考）北海道大学ウェブサイト　https://www.hokudai.ac.jp/

お問い合わせ先

北海道大学大学院情報科学研究院　教授　秋永広幸（あきながひろゆき）

メール　akinaga.hiro@ist.hokudai.ac.jp

imec 国際広報担当　Jade Liu（ジェイド・リウ）

メール　Jade.Liu@ imec.be

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

ＴＥＬ　011-706-2610　ＦＡＸ　011-706-2092　メール　jp-press@general.hokudai.ac.jp